



5 月 号

平成 27 年 4 月 30 日

横浜市立東中田小学校

校長 芝 フク代

TEL.802-0500 FAX.801-4089

WEB ページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/higashinakada/>



## 1 年生のスタートカリキュラム

校長 芝 フク代

かわいい 82 名の 1 年生が入学してから早 3 週間が経ちました。4 月 16 日には 1 年生を迎える会が行われ、東中田小学校の全児童 579 名が今年度初めて集合しました。6 年生と手をつないで入場し、みんなで楽しくゲームをしたり、メダルをもらったりと笑顔いっぱいの会でした。

例年、小学校と幼稚園、保育園との交流を通して、お互いの子どもたちの様子を知り、園での生活を小学校で生かすことや小学校での学習に対する姿勢を園でも取り入れて、園と小学校を連続性のあるものにしていくことが大切だと考え、交流を深めています。そこで、今年度は幼児期の教育から小学校教育への円滑な接続を大切にしたいと 1 年生入学当初の「スタートカリキュラム」を



子どもたちの状況を見とりながら工夫して実施しました。

スタートカリキュラムのねらいは、大きく 3 つあります。

- ① 一人ひとりの子どもが安心感をもてるようにすること。
- ② 各教科等の学習に円滑に接続をし、学習に意欲的に取り組めるようにすること。
- ③ 学習や生活の基盤となる学級集団、学年集団づくり。

小学校には、複数の幼稚園や保育園から子どもたちが入学してきます。1 年生の子どもたちにとって、新しいクラスは、新しい人間関係でスタートするととても緊張感のある集団です。慣れ親しんできた幼稚園や保育園のクラスでは自

分の力を発揮していた子も、新しいクラスではすぐにそうした力はなかなか発揮できません。スタートカリキュラムを通して、一人ひとりが新しい人間関係を築くことができるように、心をほぐし、安心感をもてるようにしていきたいと思っています。そこで、学年全体で本の読み聞かせや歌、ゲーム等から一日が始まるようにした活動を組み入れています。幼稚園や保育園で経験したことのある活動から一日が始まることで、不安感や緊張感を少なくし、「分かる」「できる」という感覚を身に付けながら、学ぶ楽しさを味わうようにと考えています。このような活動や学習形態の工夫により、1 年生の学校生活のスタートをスムーズにしたいと考え、取り組んでいるところです。1 年生の子どもたちの笑顔とやる気が感じられるよい時間となっています。



また、給食が 4 月 10 日から始まりましたが、6 年生が牛乳パックの片付け方を優しく教えたり、食器の返却を手伝ったりと東中田小学校のリーダーとして日常的に 1 年生に優しくかかわってくれています。このようなことを通して、6 年生は今以上の優しさ・思いやりを身に付け、1 年生はより安心して生活できるのではないかと考えています。

最後になりますが、19 日には広町自治会の総会、26 日には中田連合の総会が行われ、出席させていただきました。今年度も連合会長様はじめ多くの地域の方々に見守られ、支えていただきたきながら、「自分が好き。学校が好き。まちが好き。」な子を育てていきたいと思っています。

保護者の皆様、地域の皆様のご支援とご協力を引き続きよろしくお願いたします。